

藤崎町学校施設長寿命化計画

令和元年10月

令和3年4月改訂
令和7年10月改訂

藤崎町

目 次

1.	学校施設長寿命化計画の背景と目的等	1
	(1) 背景	1
	(2) 目的	1
	(3) 計画期間	1
	(4) 計画の位置付け	2
2.	学校施設の目指すべき姿	3
3.	学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握	4
	(1) 対象施設一覧	4
	(2) 学校施設の保有量	5
	(3) 児童・生徒数の変化と今後の推計	6
	(4) 施設関連経費の推移	8
	(5) 学校施設の配置状況	9
	(6) 今後の維持・更新コスト（従来型）	10
4.	学校施設の老朽化状況の実態把握	12
	(1) 劣化状況評価	12
	(2) 躯体以外（屋根・屋上、外壁）の劣化状況	14
	(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	15
5.	学校施設の改修等の基本的な方針	17
	(1) 長寿命化の方針	17
	(2) 目標使用年数、改修周期の設定	18
	(3) 施設整備の水準等	19
	(4) 予防保全および点検・評価の方針	20
6.	長寿命化計画の策定（実施計画）	21
	(1) 実施計画の考え方（改修等の優先順位付けと実施計画）	21
	(2) 今後10年間の整備計画表	23
7.	長寿命化計画の継続的運用方針	25
	(1) 情報基盤の整備と活用	25
	(2) 推進体制等の整備	25
	(3) フォローアップ	25

1. 学校施設長寿命化計画の背景と目的等

(1) 背景

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されています。それらの施設の今後の維持・管理コストが多額になるとともに、そのコストの発生時期が集中すると予測されるため、そのコストを平準化する必要があります。

本町の学校施設は、未来を担う児童・生徒の基礎学力を身につける学びの場であり、日常生活の多くの時間を過ごす生活の場でもあります。また、地域住民にとっては、地域活動の場であり、非常時や災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設でもあります。そのためにも、安全・安心に、学校施設を利用できるように維持する必要があります。

(2) 目的

本町では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として藤崎町公共施設等総合管理計画（平成27年3月、以下「総合管理計画」という。）を策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用し、住民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

総合管理計画によると、本町の学校施設は、建築経過年は浅いものの、町有公共施設の34.5%を占めており、効率的な施設の維持管理・運営を推進すると位置付けられています。

本計画は、総合管理計画を踏まえた個別施設計画として、学校施設を対象にして、現状の把握・分析に基づき、今後の学校施設の在り方と維持保全の方向性を検討するとともに、施設の評価を行い、保全優先度を勘案した学校施設全体の中長期的な施設整備の方針を定めることを目的としています。

(3) 計画期間

令和2（2020）年度～令和11（2029）年度（5年ごとに見直し）

本計画の計画期間は、令和2（2020）年度～令和11（2029）年度の10年間とします。

なお、本計画の維持・更新コストの試算期間は40年とします。また、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築した上で、計画を5年ごとに見直すものとします。

(4) 計画の位置付け

本計画の位置付けを以下に示します。

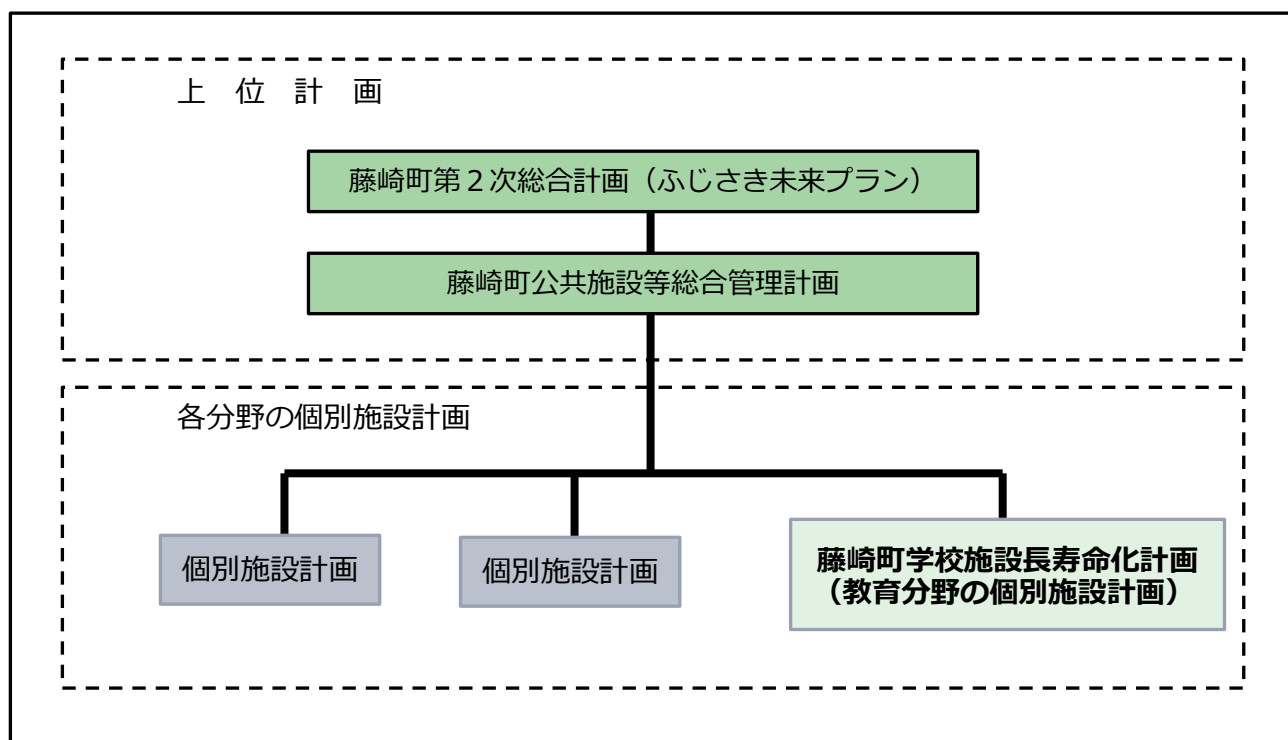


図 本計画の位置付け

2. 学校施設の目指すべき姿

藤崎町第2次総合計画（ふじさき未来プラン）では、本町の教育の目指すべき姿として以下を掲げています。

健全な心と体をはぐくむ教育・文化の環境づくり

学校教育の充実、青少年健全育成施策の推進に総合的かつ重点的に取り組みます。

また、生涯学習活動や文化・スポーツ活動に親しむ環境づくりを一層推進し、

(1) 学校教育の充実

(4) 芸術・文化活動、交流活動の充実

(2) 青少年の健全育成の推進

(5) 生涯スポーツ活動の充実

(3) 生涯学習環境と図書館活動の充実

出典：藤崎町第2次総合計画（ふじさき未来プラン）（平成29年3月 藤崎町）

以上を踏まえつつ、学校施設整備基本構想の在り方について（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 平成25年3月）を参考に、本町の学校施設の目指すべき姿の整理を行います。

1. 安全性・快適性を備えた施設環境

- ・学校施設は、児童・生徒にとって学びの場であるとともに生活の場であることから、災害対策や防犯・事故対策があり、快適な学習環境が整った施設環境を整えます。

2. 学習活動への適応性を確保する施設環境

- ・学校施設は、基礎的な学力の定着を図る子供たちの学びの場であることから、効果的・効率的に、充実した教育ができる機能的な施設環境を整えます。

3. 地域活動の拠点施設としての施設環境

- ・学校施設は、地域住民にとって地域活動の場であり、非常災害時には避難所としても重要な役割を果たす場であることから、安全・安心な施設環境を整えます。

3. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握

(1) 対象施設一覧

本計画の対象施設は、小規模な建築物等を除く 5 施設 27 棟（延床面積：30,816 m²）です。

小学校施設一覧

小学校名	建物名	延床面積 (m ²)	建築 年度	構造 ※1	児童数 (人)		学級数	
					通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
藤崎小学校	校舎	1,605	2009	RC	163	13	6	4
藤崎小学校	校舎	513	2009	RC				
藤崎小学校	校舎	2,277	2009	RC				
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	54	2010	S				
藤崎小学校	屋内運動場	1,269	2010	S				
藤崎中央小学校	校舎	3,667	1993	RC	189	17	6	3
藤崎中央小学校	校舎	347	1993	RC				
藤崎中央小学校	校舎	275	1993	RC				
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	25	1993	RC				
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	42	1993	RC				
藤崎中央小学校	屋内運動場	650	1993	S				
藤崎中央小学校	屋内運動場	272	1993	RC				
藤崎中央小学校	屋内運動場	136	1993	RC				
常盤小学校	校舎	2,477	2014	RC	267	9	11	3
常盤小学校	校舎	2,717	2014	RC				
常盤小学校	渡り廊下	32	2014	S				
常盤小学校	屋内運動場	1,437	2014	S				
常盤小学校	プール用出入口	10	2014	S				
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	20	2014	S				
小学校 計		17,825			619	39	23	10

中学校施設一覧

中学校名	建物名	延床面積 (m ²)	建築 年度	構造	生徒数 (人)		学級数	
					通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
藤崎中学校	校舎	3,169	2004	RC	192	7	8	3
藤崎中学校	校舎	1,640	2004	RC				
藤崎中学校	校舎	551	2004	RC				
藤崎中学校	屋内運動場	1,839	2005	RC	154	5	6	2
明德中学校	校舎	3,424	1998	RC				
明德中学校	校舎	540	1998	RC				
明德中学校	屋内運動場	1,797	2004	S				
明德中学校	渡り廊下	31	2022	S				
中学校 計		12,991			346	12	14	5
小・中学校 合計		30,816			965	51	37	15

※1 構造のRCは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨造を指します。

資料：学校基本調査（5月1日現在）

(2) 学校施設の保有量

本町の学校施設の築年別整備状況は、次のとおりです。

すべての学校施設は、新耐震基準で整備され、また建築経過年を30年以上経過している施設はありません。

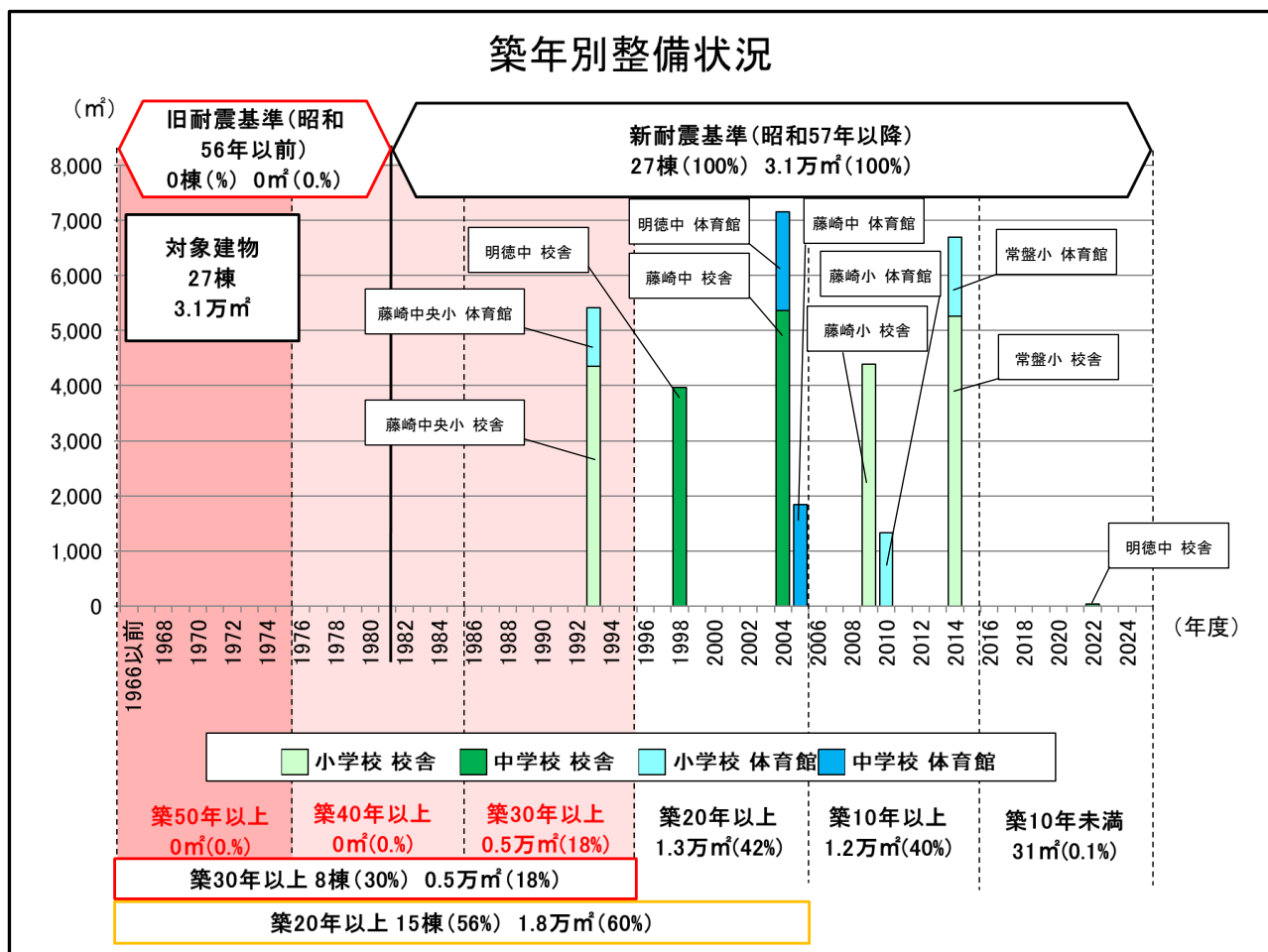
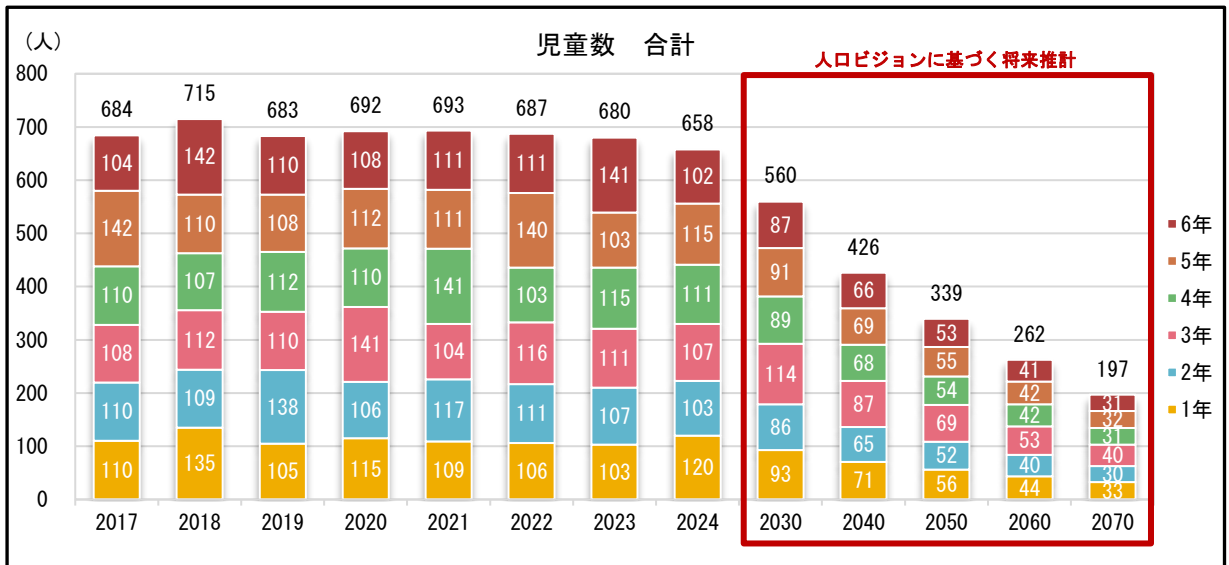


図 築年別整備状況

(3) 児童・生徒数の変化と今後の推計

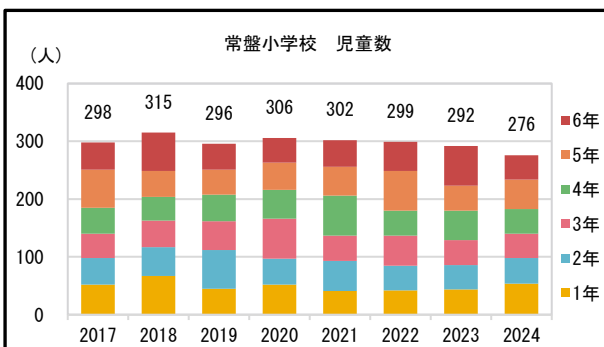
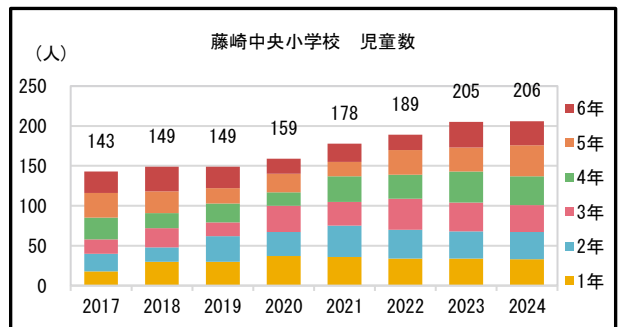
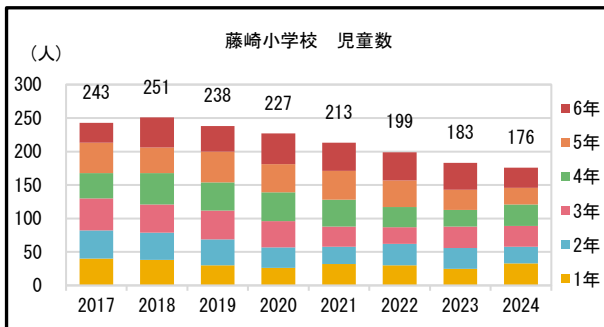
ア. 児童数

本町における令和6（2024）年の児童数は658人です。過去8年間でみると、平成29（2017）年度から令和3（2021）年度は横ばいで推移し、それ以後はゆるやかな減少傾向で推移しています。人口ビジョン^{※1}に基づく将来推計値（10年ごと）^{※2}から、2070年の児童数は197人と推計されます。



※1 まち・ひと・しごと創生藤崎町長期人口ビジョン（令和7年3月藤崎町）

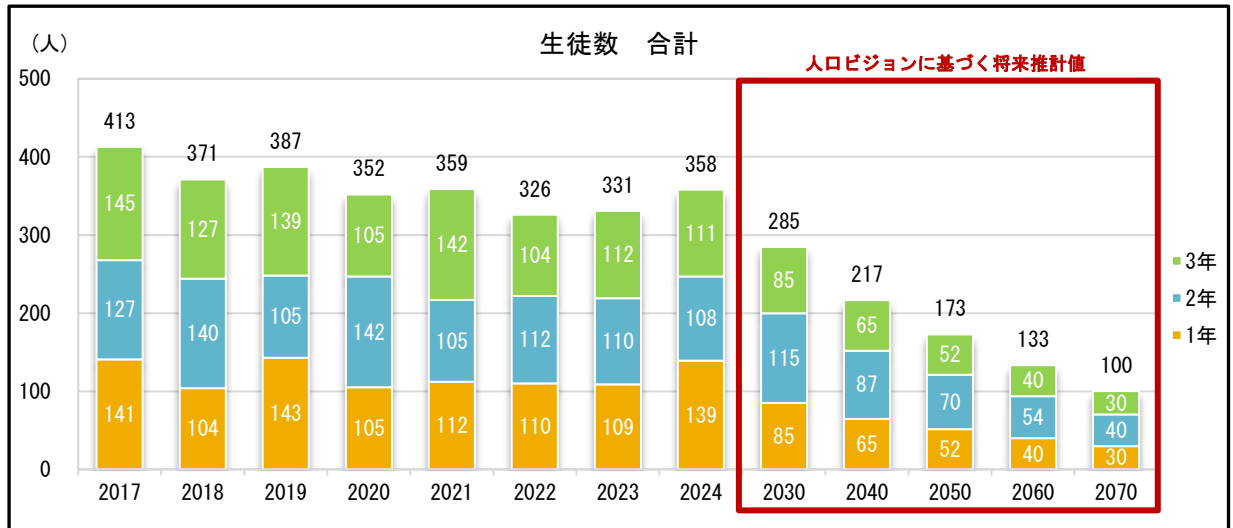
※2 児童数の将来推計方法（変化率法による推計）2030年から2070年までの児童数は、人口ビジョンの将来人口から、年少人口の変化率を求め、将来の各学年の児童数を推計しています。



資料：学校基本調査（5月1日現在）

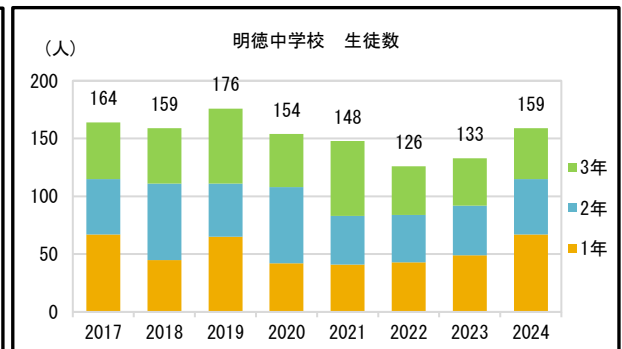
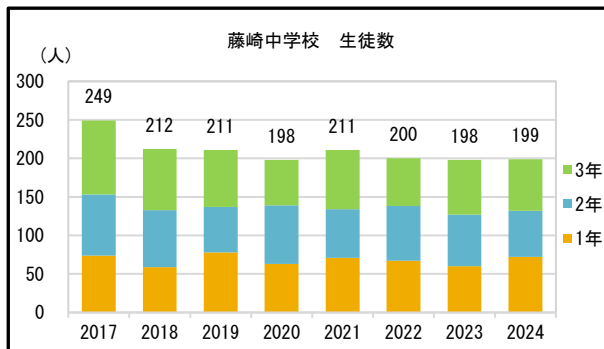
イ. 生徒数

本町における令和6（2024）年の生徒数は358人です。過去8年間でみると、平成29（2017）年度から令和4（2022）年度までゆるやかに減少し、その後はゆるやかに増加しています。人口ビジョン^{※1}に基づく将来推計値（10年ごと）^{※2}から、2070年の児童数は100人と推計されます。



※1 まち・ひと・しごと創生藤崎町長期人口ビジョン（令和7年3月藤崎町）

※2 生徒数の将来推計方法（変化率法による推計）2030年から2070年までの生徒数は、人口ビジョンの将来人口から、年少人口の変化率を求め、将来の各学年の生徒数を推計しています。



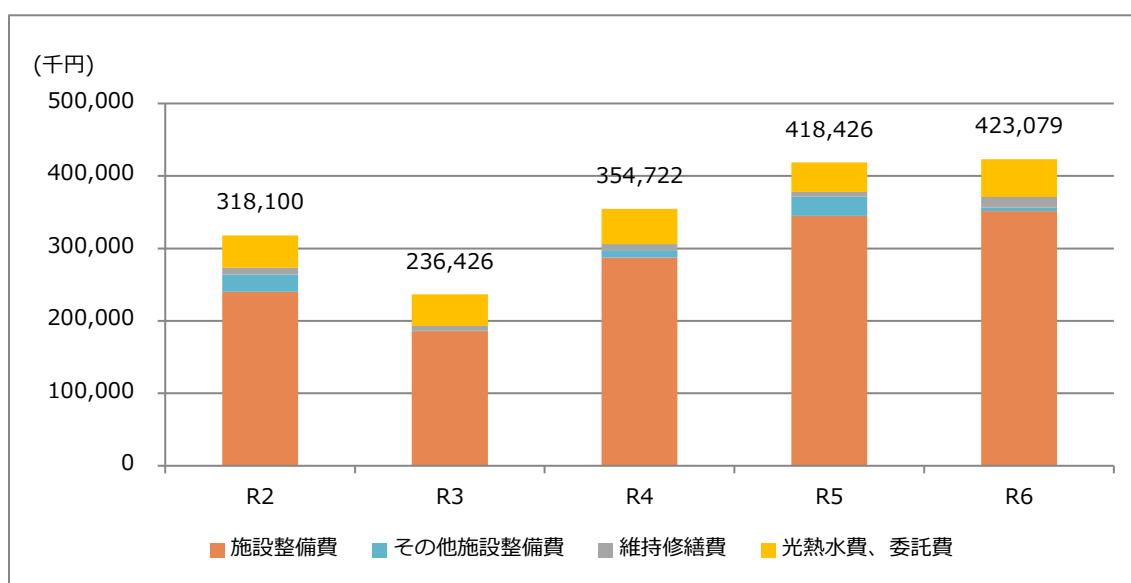
資料：学校基本調査（5月1日現在）

(4) 施設関連経費の推移

本町の学校施設に係るコスト状況についてみると、過去5年間の施設関連経費は、次のとおりです。過去5年間の学校施設に係るコストは、年平均で約3.5億円となっています。

■ 合計（小学校・中学校） (千円)

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	年平均 (5か年)
施設整備費	240,185	185,865	287,419	344,783	351,417	281,934
その他施設整備費	23,826	422	10,170	26,400	5,005	13,164
維持修繕費	9,173	6,711	8,206	6,614	14,642	9,069
光熱水費・委託費	44,916	43,428	48,927	40,629	52,015	45,983
合計	318,100	236,426	354,722	418,426	423,079	350,150



■ 小学校費合計 (千円)

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	年平均 (5か年)
施設整備費	130,482	173,952	218,944	26,978	737	110,219
その他施設整備費	23,826	422	2,690	25,784	5,005	11,545
維持修繕費	2,924	2,163	4,870	4,100	8,655	4,542
光熱水費・委託費	25,523	23,907	26,656	24,082	31,393	26,312
合計	182,755	200,444	253,160	80,944	45,790	152,618

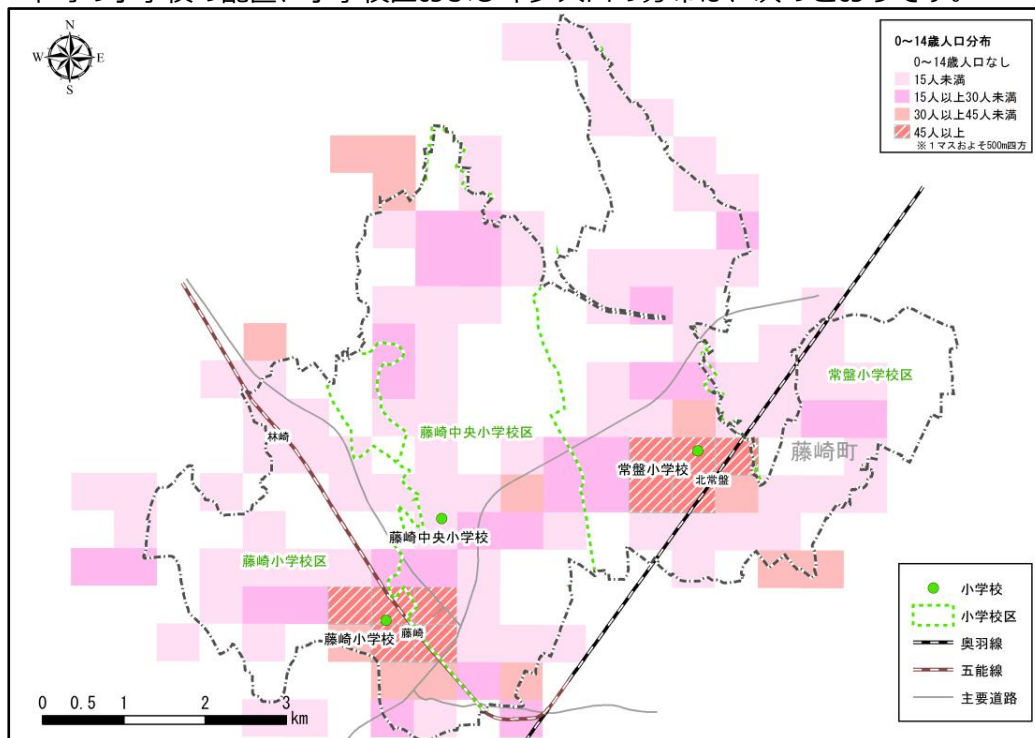
■ 中学校費合計 (千円)

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	年平均 (5か年)
施設整備費	109,703	11,913	68,475	317,805	350,680	171,715
その他施設整備費	0	0	7,480	616	0	1,619
維持修繕費	6,249	4,548	3,336	2,514	5,987	4,527
光熱水費・委託費	19,393	19,521	22,271	16,547	20,622	19,671
合計	135,345	35,982	101,562	337,482	377,289	197,532

(5) 学校施設の配置状況

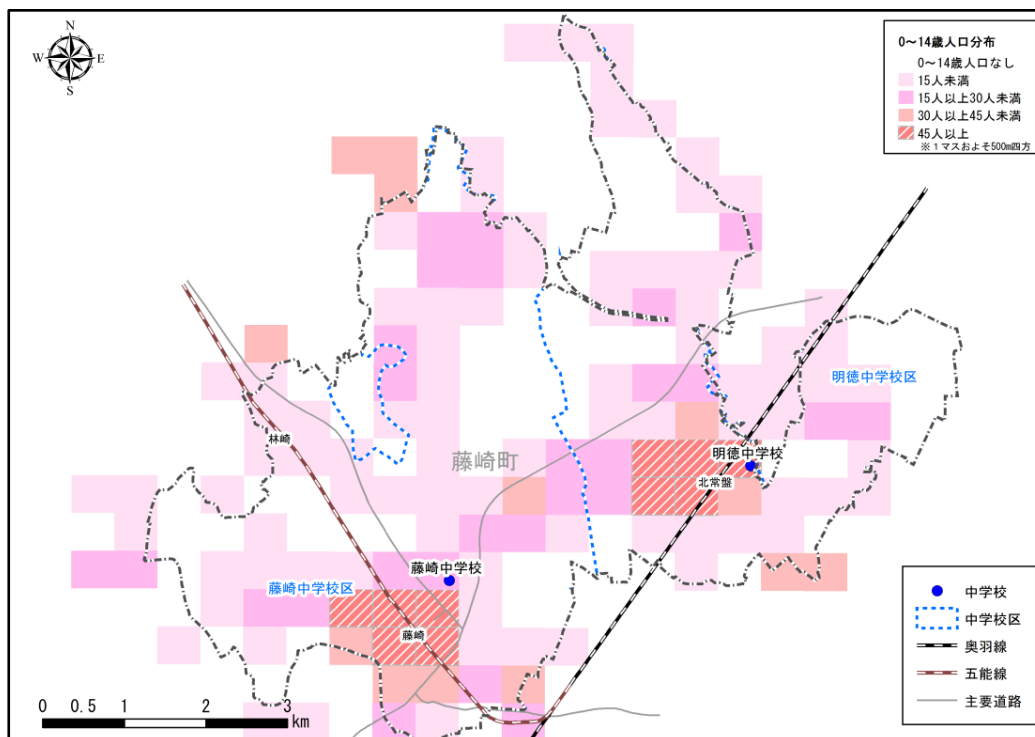
ア. 小学校

本町の小学校の配置、小学校区および年少人口の分布は、次のとおりです。



イ. 中学校

本町の中学校の配置、中学校区および年少人口の分布は、次のとおりです。



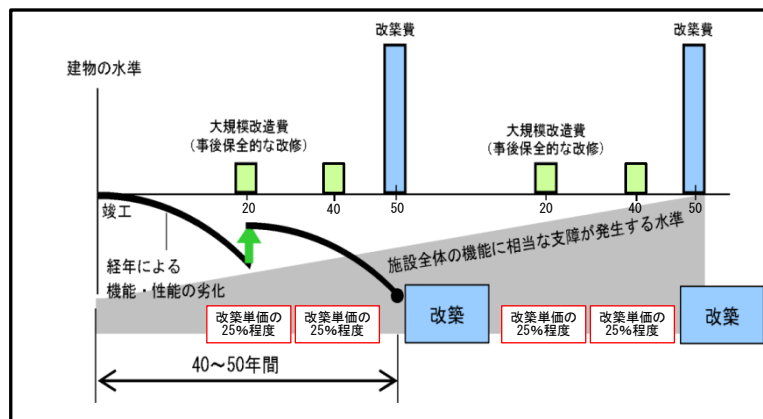
(6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

ア. 今後の維持・更新コスト（従来型）コスト算出の考え方

今後の維持・更新コスト（従来型）の算出の考え方は、次のとおりです。

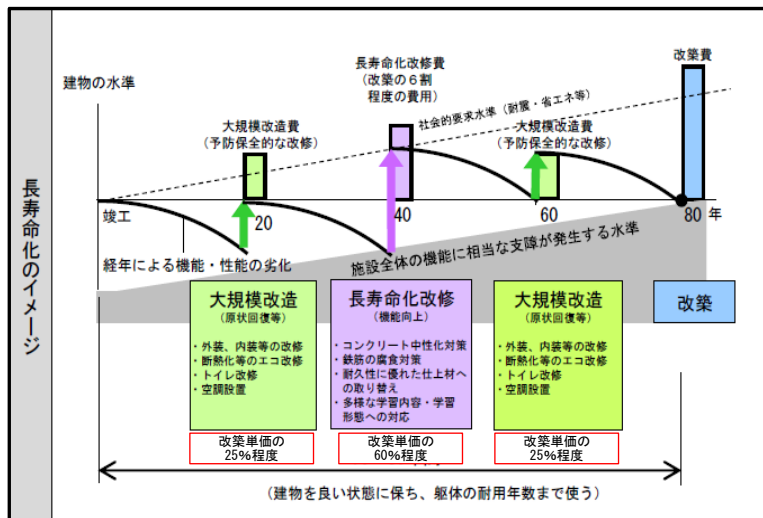
- ・改築周期：改築周期（50年）に、現状の延床面積で改築を実施し、2年に工事費を均等配分するものとします。
- ・改築単価：330,000円/㎡とします。
- ・大規模改造周期：改造周期（20年）とし20年目と40年目に、現状の延床面積で単年度に工事を実施するものとします。20年以上経過した建物は40年目のみ計上するものとします。
- ・大規模改造単価（校舎）：82,500円/㎡（改築単価の25%）とします。
- ・大規模改造単価（屋内運動場他）：72,600円/㎡（改築単価の22%）とします。

【従来型イメージ図】



※次章では下図のように長寿命化型を検討します。

【参考：長寿命化型イメージ図】



資料：文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

イ. 今後の維持・更新コスト（従来型）

今後40年間の維持・更新コストは、177億円（1年あたり4.4億円）のコストが必要になると試算されます。

また、過去5年間の施設関連経費17.5億円（1年あたり3.5億円）の1.3倍に相当します。

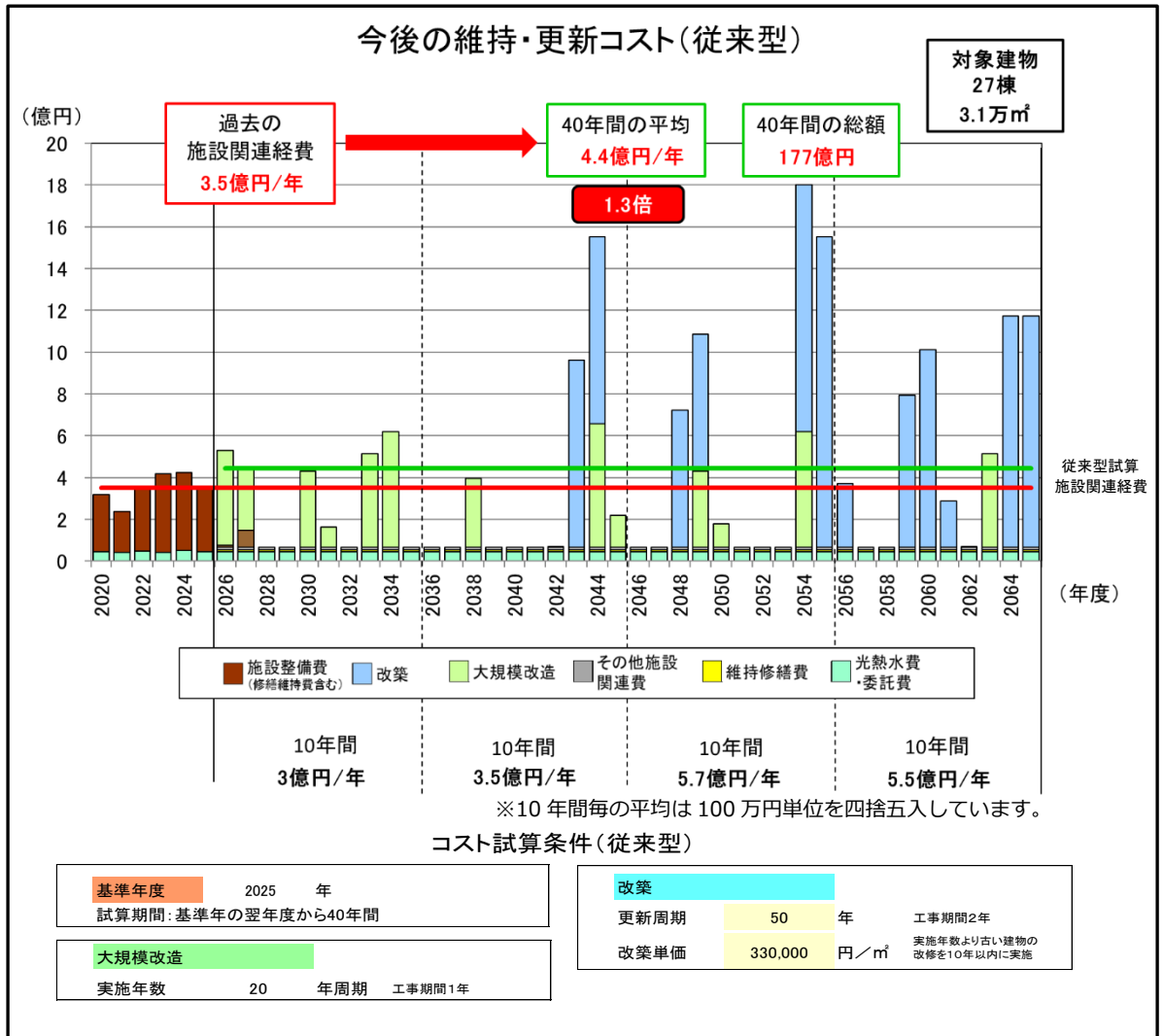


図 今後の維持・更新コスト（従来型）

4. 学校施設の老朽化状況の実態把握

(1) 劣化状況評価

劣化状況評価は、本計画の対象建築物に対し、「躯体の健全性」と「躯体以外の劣化状況」の2つに分けて把握・評価します。

ア. 躯体の健全性

躯体の健全性は、建物の建築年度から耐震安全性^{※1}を把握し、躯体の長寿命化について判定します。

本計画の対象施設は、全て新耐震基準のため、「長寿命」と判定します。

建物基本情報							構造躯体の健全性					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分
藤崎小学校	校舎	001	RC	2	1,605	16	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎小学校	校舎	002	RC	2	513	16	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎小学校	校舎	003	RC	2	2,277	16	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	004	S	1	54	15	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎小学校	屋内運動場	005	S	2	1,269	15	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	校舎	001	RC	2	3,667	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	校舎	002	RC	1	347	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	校舎	002	RC	1	275	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	003	RC	1	25	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	003	RC	1	42	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	S	1	650	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	RC	2	272	32	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	RC	1	136	32	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	校舎	007	RC	2	2,477	11	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	校舎	008	RC	2	2,717	11	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	渡り廊下	009	S	1	32	11	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	屋内運動場	010	S	2	1,437	11	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	プール用出入口	010	S	1	10	11	新	-	-	R4	-	長寿命
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	010	S	1	20	11	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中学校	校舎	015	RC	2	3,169	21	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中学校	校舎	016	RC	2	1,640	21	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中学校	校舎	017	RC	2	551	21	新	-	-	R4	-	長寿命
藤崎中学校	屋内運動場	018	RC	2	1,839	20	新	-	-	R4	-	長寿命
明徳中学校	校舎	020	RC	3	3,424	27	新	-	-	R4	-	長寿命
明徳中学校	校舎	020	RC	3	540	27	新	-	-	R4	-	長寿命
明徳中学校	屋内運動場	023	S	2	1,797	21	新	-	-	R4	-	長寿命
明徳中学校	渡り廊下	024	S	1	31	3	新	-	-	R4	-	長寿命

※1 耐震安全性

昭和56年6月に建築基準法が改正されています。ここでは耐震基準を昭和56年度以前の建物を「旧耐震」、昭和57年度以降の建物を「新耐震」に分類します。

イ. 躯体以外の劣化状況

定期点検報告書（建築基準法 12 条点検結果）から劣化状況を評価し、建物ごとの健全度の算出を行います。

劣化状況評価は、屋根・屋上、外壁は、目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に A、B、C、D の 4 段階で評価します。

建物基本情報							劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (100 点満点)
藤崎小学校	校舎	001	RC	2	1,605	16	A	C	A	A	A	83
藤崎小学校	校舎	002	RC	2	513	16	C	C	A	A	A	78
藤崎小学校	校舎	003	RC	2	2,277	16	B	C	A	A	A	81
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	004	S	1	54	15	A	A	A	A	A	100
藤崎小学校	屋内運動場	005	S	2	1,269	15	B	B	A	A	A	91
藤崎中央小学校	校舎	001	RC	2	3,667	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	校舎	002	RC	1	347	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	校舎	002	RC	1	275	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	003	RC	1	25	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	003	RC	1	42	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	S	1	650	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	RC	2	272	32	A	A	A	A	A	100
藤崎中央小学校	屋内運動場	003	RC	1	136	32	A	A	A	A	A	100
常盤小学校	校舎	007	RC	2	2,477	11	A	A	B	A	A	91
常盤小学校	校舎	008	RC	2	2,717	11	A	A	A	A	A	100
常盤小学校	渡り廊下	009	S	1	32	11	A	A	A	A	A	100
常盤小学校	屋内運動場	010	S	2	1,437	11	B	A	B	A	A	89
常盤小学校	プール用出入り口	010	S	1	10	11	A	A	A	A	A	100
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	010	S	1	20	11	A	A	A	A	A	100
藤崎中学校	校舎	015	RC	2	3,169	21	C	C	A	D	A	66
藤崎中学校	校舎	016	RC	2	1,640	21	C	C	A	D	A	66
藤崎中学校	校舎	017	RC	2	551	21	C	C	A	D	A	66
藤崎中学校	屋内運動場	018	RC	2	1,839	20	A	C	A	A	A	83
明德中学校	校舎	020	RC	3	3,424	27	A	A	A	A	A	100
明德中学校	校舎	020	RC	3	540	27	A	A	A	A	A	100
明德中学校	屋内運動場	023	S	2	1,797	21	A	A	A	A	A	100
明德中学校	渡り廊下	024	S	1	31	3	A	A	A	A	A	100

(令和 7 年 10 月時点)

(2) 躯体以外（屋根・屋上、外壁）の劣化状況

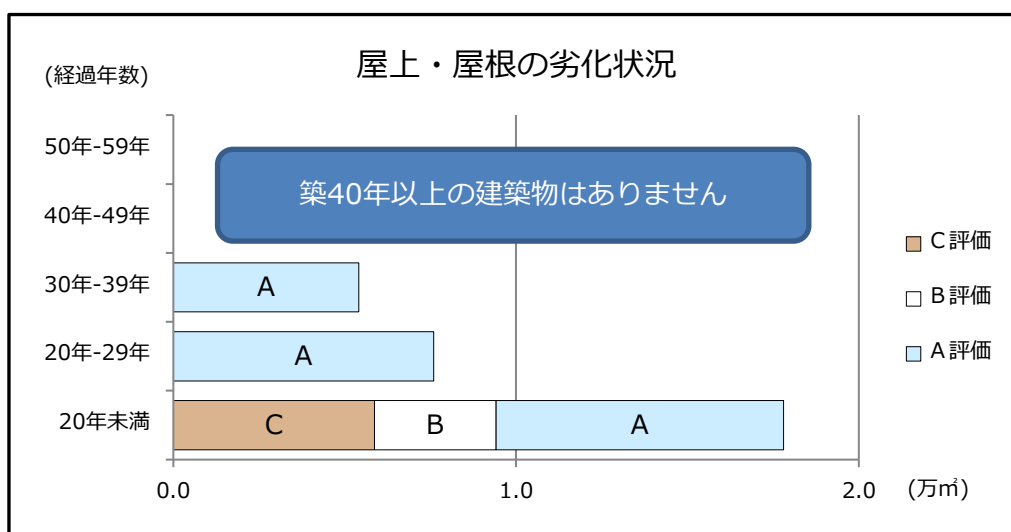
劣化状況評価を基に、屋根・屋上の劣化状況評価と外壁の劣化状況評価を以下に示します。

屋根・屋上について、築年数が浅い建築物（20年未満）にC評価が見られます。

外壁について、築年数が浅い建築物（20年～29年）にC評価が見られます。

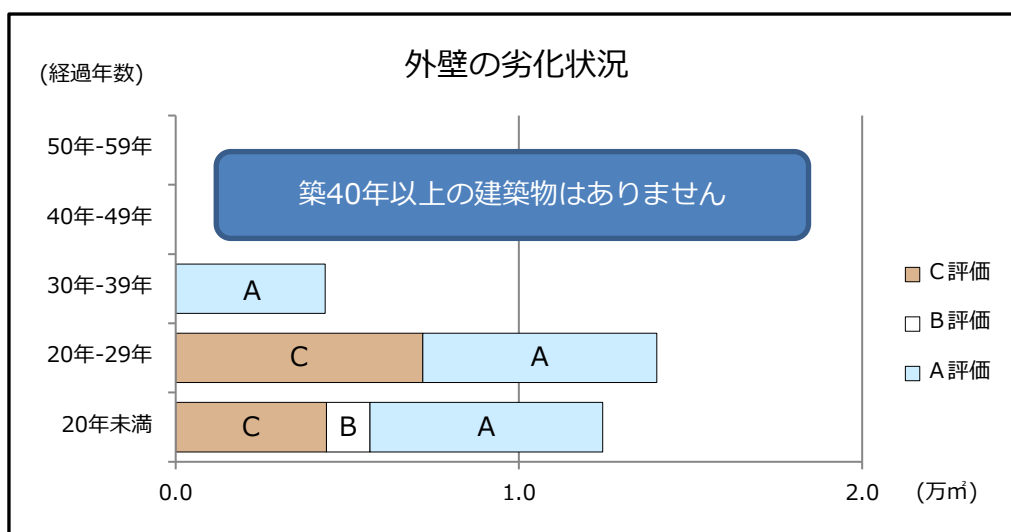
■ 屋根・屋上の劣化状況

- ・ A評価は、すべての経過年数の建築物にあります。
- ・ B評価は、経過年数20年未満の建築物にあります。
- ・ C評価は、経過年数20年未満の建築物にあります。
- ・ D評価は、ありません。



■ 外壁の劣化状況

- ・ A評価は、すべての経過年数の建築物にあります。
- ・ B評価は、経過年数20年未満の建築物にあります。
- ・ C評価は、経過年数20年未満及び20～29年の建築物にあります。
- ・ D評価は、ありません。



(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

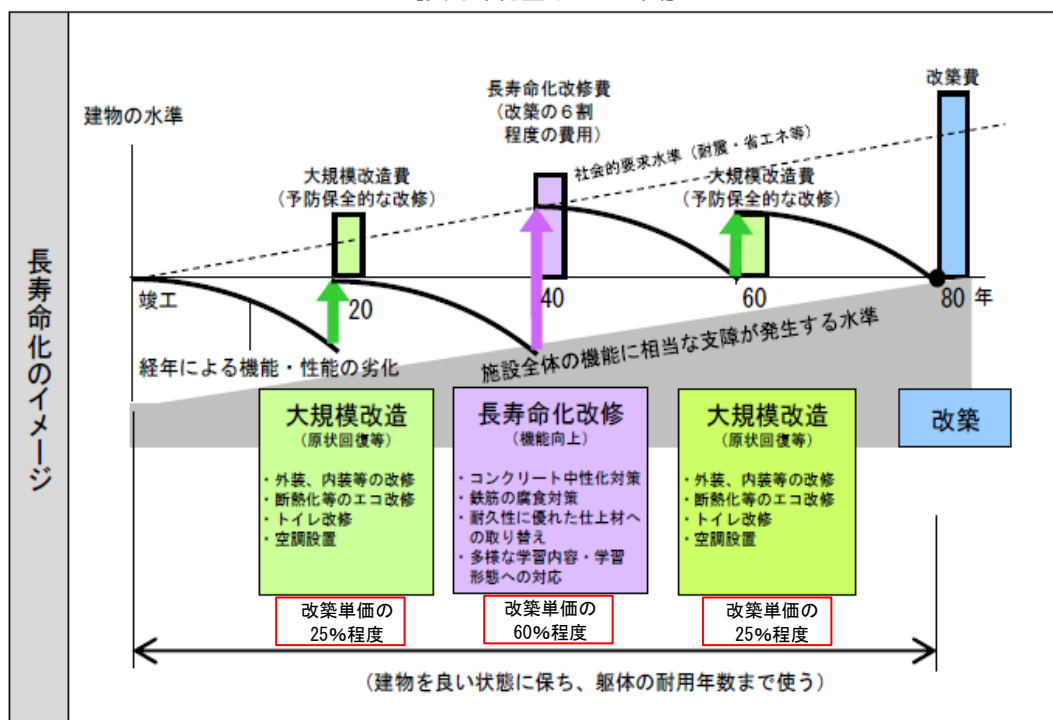
ア. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の考え方

今後の維持・更新コストの（長寿命化型）の考え方は次のとおりです。

- ・改築周期：80年とします。
- ・長寿命化改修周期：改修周期（40年）に、現状の延床面積で改修を実施し、2年に工事費を均等配分するものとします。
- ・長寿命化改修単価：198,000円/㎡（改築単価の60%）とします。
- ・大規模改造周期：改造周期（20年）とし20年目と40年目に、現状の延床面積で単年度に工事を実施するものとします。
- ・大規模改造単価（校舎）：82,500円/㎡（改築単価の25%）とします。
- ・大規模改造単価（屋内運動場他）：72,600円/㎡（改築単価の22%）とします。
- ・部位修繕 劣化状況評価「C」：今後10年以内に部位修繕を実施します。
- ・部位修繕 劣化状況評価「D」：今後5年以内に部位修繕を実施します。

（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合は除きます。）

【長寿命化型イメージ図】



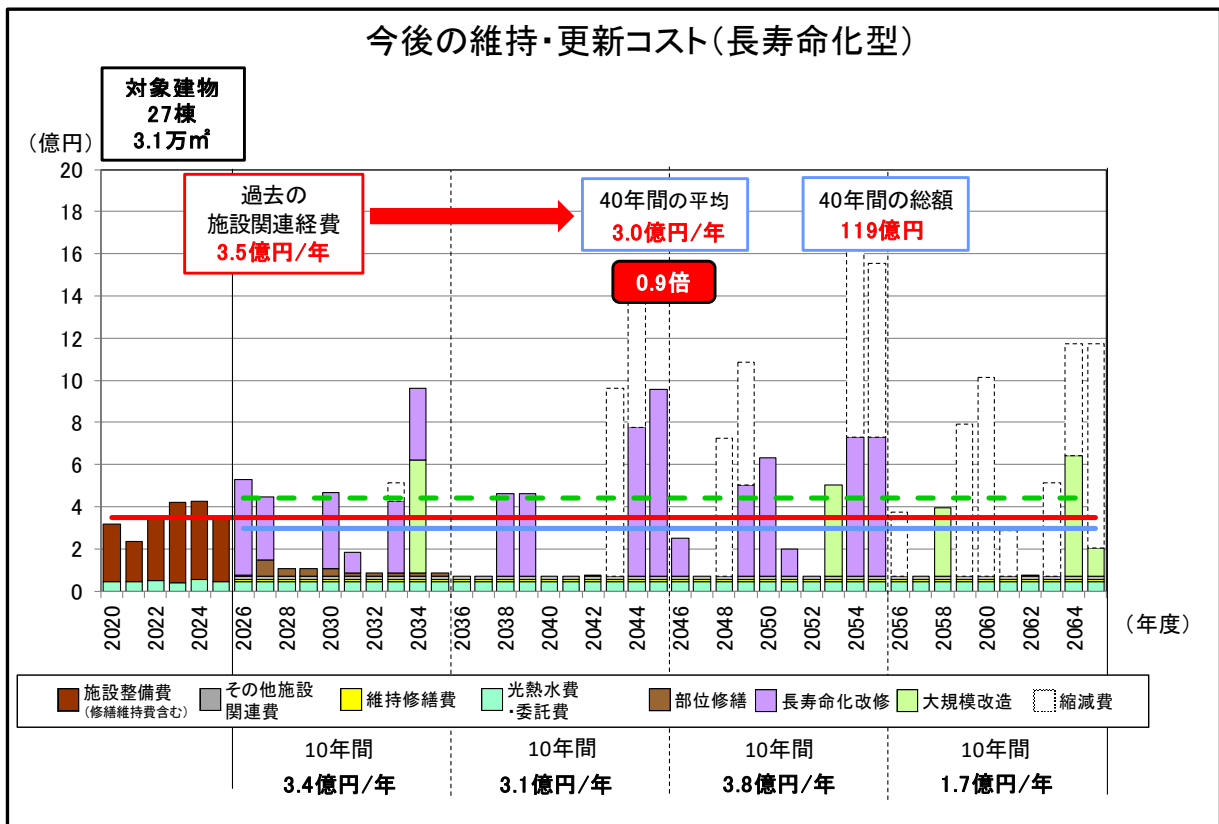
資料：文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

イ. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後40年間の維持・更新コストは、119億円（1年あたり3.0億円）のコストが必要になると試算されます。

【長寿命化型の効果】

従来型の試算（1年あたり4.4億円）と比べ、40年平均で1年あたり約1.4億円の圧縮効果があります。長寿命化型を前提とした維持・管理を行っても、過去5年間の1年あたりの施設関連経費の約0.9倍かかると見込まれます。



※10年間毎の平均は100万円単位を四捨五入しています。

コスト試算条件(長寿命化型)

基準年度 2025 西暦

試算期間: 基準年の翌年度から40年間

※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

改築: <改築、更新等> 50年

長寿命: <長寿命> 80年

工事期間: 2年

実施年数より古い建物の改築を 10年以内に実施

大規模改造

改築周期: 20年周期

(ただし、改築・長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)

※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。

部位修繕

D評価: 今後 5年以内に部位修繕を実施

C評価: 今後 10年以内に部位修繕を実施

(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)

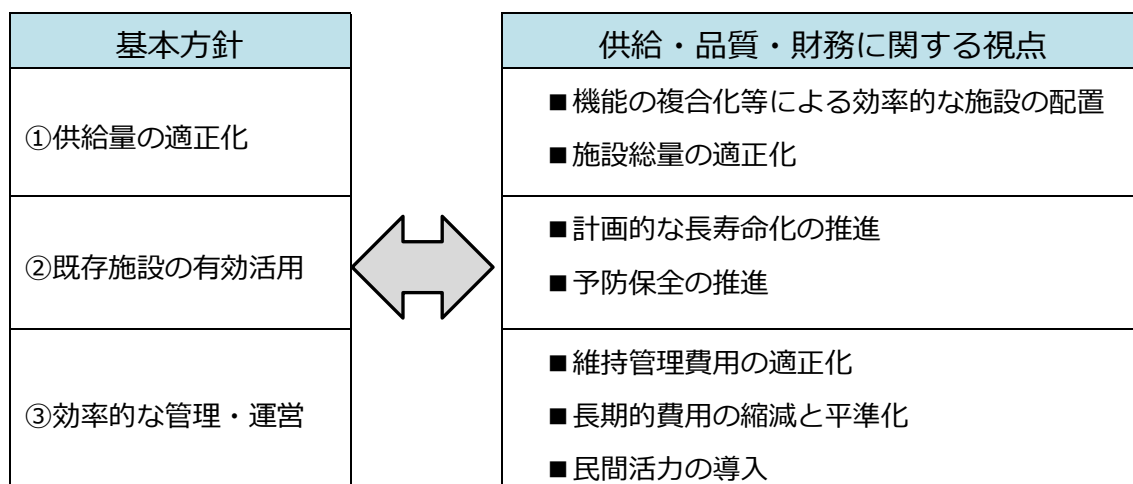
A評価: 今後 10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

図 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

5. 学校施設の改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

総合管理計画では、公共施設等に関して、次に示す3つの視点により、総合的、計画的な管理を推進しています。



将来の学校教育系施設については、現状及び課題等、公共施設の整備・維持管理、統廃合、施設利用に関する各種の関連計画を考慮した基本方針を示しています。

現状及び課題等	町の基本方針 将来の施設利用検討(案)
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行に伴い、児童・生徒数は減少傾向にある。 ・学校施設は災害時の避難場所である。 ・平成5年以降(20年経過)の建築が多く、新耐震基準の建物 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は、統廃合を実施済み ・効率的な施設の維持管理・運営を推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・給食センター (平成21年以降 12年経過 直営) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度等の民間活力を導入するとともに、効率的な施設の維持管理・運営を推進する。

藤崎町公共施設等総合管理計画(令和3年3月 藤崎町)

総合管理計画における公共施設等に関する基本方針や将来の学校教育系施設についての基本方針を踏まえ、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を次のように定めます。

1. 計画的保全による長寿命化の推進

- ・適切な維持管理のもと、建物の長寿命化に切り替えます。また、老朽化が進んだ施設において、適正規模や適正配置を検討のうえ、必要に応じ、改築を計画的に進めます。
- ・防犯性やバリアフリー化の対応のほか、社会的要請にこたえつつ、利用者の安全性や、快適性など質的に保たれた施設環境の整備を推進します。

2. 地域活動に対応した施設の活用

- ・学校、家庭、地域住民の連携による学校づくりを実践するため、生涯にわたる学習、文化、スポーツ、地域学校共同活動、防災拠点化など住民に身近な施設活用を推進します。

3. 施設保有量の最適化

- ・今後の児童数・生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ、小中学校の適正規模・適正配置について検討します。
- ・余裕教室が生じた場合は、多目的教室や放課後児童クラブ等の段階的な複合利用を検討します。
- ・地域の公民館、社会教育施設、スポーツ施設、地域学校共同活動等の地域の実状に応じた機能の再編について配慮し、検討します。

(2) 目標使用年数、改修周期の設定

鉄筋コンクリート造および鉄骨造の物理的耐用年数は、適切な維持管理がなされることを前提に、普通品質では50～80年、高品質の場合は80～120年とされています。^{※1}

本町の対象施設における改修等の周期および目標使用年数を次のように設定します。

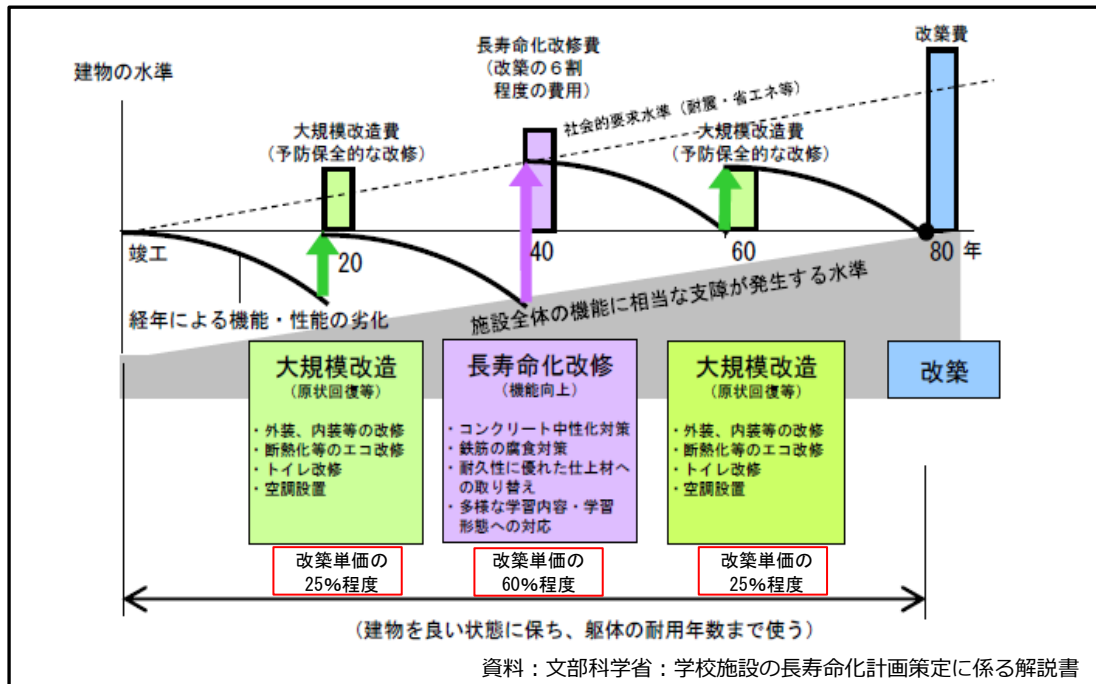
表 改修等の周期および目標耐用年数

用途	大規模改造周期	長寿命化改修周期	目標使用年数
校舎および体育館	築20年 築60年	築40年	80年

※1 出典 「建築物の耐久計画に関する考え方」(社団法人日本建築学会)

(3) 施設整備の水準等

本町の対象施設における施設整備の水準は、今ある施設を長期間使うことを推進し、竣工時に回復するとともに、各部位の費用対効果を考慮した最適な仕様を設定します。また、社会的な要請に合わせた機能の高まりへ対応した維持・更新に努めます。



	設備区分	大規模改造	長寿命化	主な工事内容
		対象	対象	
建築	構造躯体 (RC造・S造)	—	★	中性化対策
	屋根	★	★	葺替、シート張替
	外部 (外壁)	★	★	塗装または張替
	建具	—	★	交換
	内部仕上げ (床)	★	★	張替
	内部仕上げ (壁)	★	★	張替
	内部仕上げ (天井)	★	★	張替
電気	受変電 (電気配線)	—	★	機器交換
	発電・静止形電源	—	★	機器交換
	電力	—	★	一式交換
	中央監視	—	★	機器交換
	通信・情報	—	★	機器交換
機械	空調	★	★	機器交換
	換気	—	★	一式交換
	自動制御	—	★	一式交換
	給排水衛生 (給排水管)	★	★	一式交換
	消火	★	★	一式交換
	昇降機その他	—	★	機器交換
社会的要請		★	★	

※ ★…対象とする —…対象としない

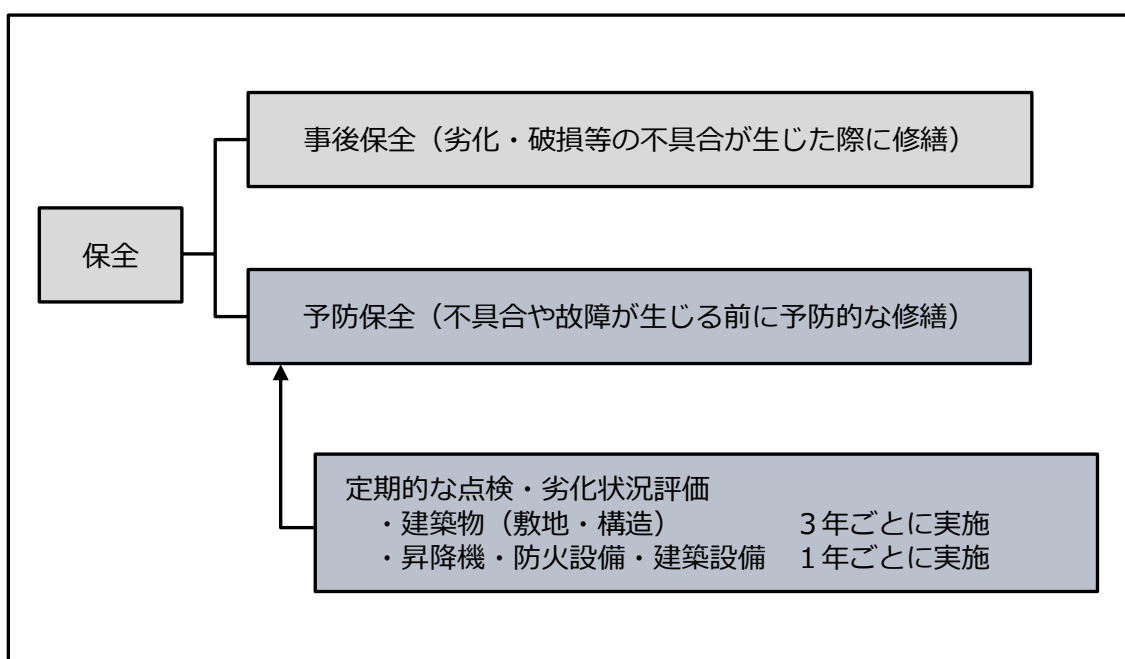
(4) 予防保全および点検・評価の方針

施設を長期的に使用するためには、劣化・破損等の不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、不具合や故障が生じる前に予防的な修繕等を実施し、機能の保持を図る「予防保全」が重要です。

「予防保全」は、施設機能が突発的に停止するリスクを低減させるほか、改修等に係る費用を計画的に実施することで、中長期的なトータルコストを下げることに繋がります。

また、「予防保全」を効率的・効果的に実施するため、躯体以外の劣化状況の点検・評価を実施します。

点検については、有資格者等による専門的な点検を定期的の実施するものとします。評価については、点検の結果を劣化状況調査票に反映するものとし、「予防保全」に役立てるものとします。



6. 長寿命化計画の策定（実施計画）

（1）実施計画の考え方（改修等の優先順位付けと実施計画）

維持・更新コストの平準化を図るため、改修等の優先順位を検討します。実施計画（今後 10 年の整備計画）の考え方は次のとおりです。

・改修等の優先順位

第 1 判定 部位修繕を最優先に検討します。

劣化状況評価「D」：今後 5 年以内に部位修繕を実施します。

第 2 判定 長寿命化改修や大規模改造は、「健全度」を参考に検討します。

工事時期が重複する場合、築年数や児童・生徒数、施設の状況を総合的に判断して改修等の実施時期を検討します。

・改築周期：80 年とします。

・長寿命化改修周期：概ね改修周期（40 年）に、工事実施年度を検討し、3 年に工事費を均等配分するものとします。

・長寿命化改修単価：198,000 円/m²（改築単価の 60%）とします。

・大規模改造周期：改造周期（20 年）とし 20 年目と 40 年目に、現状の延床面積で実施時期を検討した上で工事を実施するものとします。また、劣化状況評価「C」の部位修繕を併せて実施します。

・大規模改造単価（校舎）：82,500 円/m²（改築単価の 25%）とします。

・大規模改造単価（屋内運動場他）：72,600 円/m²（改築単価の 22%）とします。

【参考：建物一覧表 健全度順】

施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	施設状況評価						健全度 (100点満点)	築年数
				屋根上・	外壁	仕内上部	設電備気	設機械			
藤崎中学校	校舎	RC	1,640	C	C	A	D	A	66	21	
藤崎中学校	校舎	RC	3,169	C	C	A	D	A	66	21	
藤崎中学校	校舎	RC	551	C	C	A	D	A	66	21	
藤崎小学校	校舎	RC	2,277	B	C	B	A	A	71	16	
藤崎小学校	校舎	RC	513	C	C	A	A	A	78	16	
藤崎中学校	屋内運動場	RC	1,839	A	C	A	A	A	83	20	
藤崎小学校	校舎	RC	1,605	A	C	A	A	A	83	16	
常盤小学校	屋内運動場	S	1,437	B	A	B	A	A	89	11	
藤崎中央小学校	屋内運動場	RC	136	A	A	B	A	A	91	32	
藤崎小学校	屋内運動場	S	1,269	B	B	A	A	A	91	15	
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	S	54	A	A	A	A	A	100	15	
藤崎中央小学校	校舎	RC	3,667	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	校舎	RC	347	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	校舎	RC	275	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	RC	25	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	RC	42	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	屋内運動場	S	650	A	A	A	A	A	100	32	
藤崎中央小学校	屋内運動場	RC	272	A	A	A	A	A	100	32	
常盤小学校	校舎	RC	2,477	A	A	A	A	A	100	11	
常盤小学校	校舎	RC	2,717	A	A	A	A	A	100	11	
常盤小学校	渡り廊下	S	32	A	A	A	A	A	100	11	
常盤小学校	プール別出入口	S	10	A	A	A	A	A	100	11	
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	S	20	A	A	A	A	A	100	11	
明德中学校	校舎	RC	3,424	A	A	A	A	A	100	27	
明德中学校	校舎	RC	540	A	A	A	A	A	100	27	
明德中学校	屋内運動場	S	1,797	A	A	A	A	A	100	21	
明德中学校	渡り廊下	S	31	A	A	A	A	A	100	3	

【参考：児童数・生徒数（令和6年5月1日時点）】

小学校名（3校）	児童数(人)
藤崎小学校	176
藤崎中央小学校	206
常盤小学校	276

中学校名（2校）	生徒数(人)
藤崎中学校	199
明德中学校	159

(2) 今後10年間の整備計画表

1年目から5年目(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)の整備計画表を示します。

ア. 1年目から5年目の整備計画表

年度				単位(千円)				
施設名称	建物名	建築年度	築年数	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
藤崎小学校	校舎	平成21(2009)	16					
藤崎小学校	校舎	平成21(2009)	16			高圧機器交換工事		蓄電池交換
藤崎小学校	校舎	平成21(2009)	16			1,000		12,000
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	平成22(2010)	15					
藤崎小学校	屋内運動場	平成22(2010)	15					蓄電池交換
藤崎中央小学校	校舎	平成5(1993)	32					12,000
藤崎中央小学校	校舎	平成5(1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎	平成5(1993)	32		100,859	178,200		
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	平成5(1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	平成5(1993)	32					
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5(1993)	32					
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5(1993)	32		79,923			蓄電池交換
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5(1993)	32					
常盤小学校	校舎	平成26(2014)	11				35,000	
常盤小学校	校舎	平成26(2014)	11					
常盤小学校	渡り廊下	平成26(2014)	11					
常盤小学校	屋内運動場	平成26(2014)	11					
常盤小学校	プール別出入り口	平成26(2014)	11					
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	平成26(2014)	11					
藤崎中学校	校舎	平成16(2004)	21					
藤崎中学校	校舎	平成16(2004)	21			高圧機器交換工事		
藤崎中学校	校舎	平成16(2004)	21		5,000			
藤崎中学校	校舎	平成16(2004)	21	屋根防水改修工事				
藤崎中学校	屋内運動場	平成17(2005)	20	55,220				
明德中学校	校舎	平成10(1998)	27				141,240	141,240
明德中学校	校舎	平成10(1998)	27				22,275	22,275
明德中学校	屋内運動場	平成16(2004)	21				32,500	32,500
施設整備費計				55,220	185,782	179,200	231,015	220,015
維持修繕費				4,704	4,704	4,704	4,704	4,704
光熱水費・委託費				39,693	39,693	39,693	39,693	39,693
合計				99,617	230,179	223,597	275,412	264,412

凡例	部位修繕
	大規模改造
	長寿命化(予防改修)
	その他

6年目から10年目(令和7(2025)年度～令和11(2029)年度)の整備計画表を示します。

イ. 6年目から10年目の整備計画表

年度				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
施設名称	建物名	建築年度	築年数					
藤崎小学校	校舎	平成21 (2009)	16				FF暖房設備更新	
藤崎小学校	校舎	平成21 (2009)	16		2,284	23,715		
藤崎小学校	校舎	平成21 (2009)	16					
藤崎小学校	屋内運動場渡り廊下	平成22 (2010)	15					
藤崎小学校	屋内運動場	平成22 (2010)	15					
藤崎中央小学校	校舎	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	校舎渡り廊下	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5 (1993)	32					
藤崎中央小学校	屋内運動場	平成5 (1993)	32					
常盤小学校	校舎	平成26 (2014)	11				LED照明改修工事	
常盤小学校	校舎	平成26 (2014)	11					
常盤小学校	渡り廊下	平成26 (2014)	11					
常盤小学校	屋内運動場	平成26 (2014)	11		4,361	55,761		
常盤小学校	プール用出入り口	平成26 (2014)	11					
常盤小学校	階段下(防災備蓄室)	平成26 (2014)	11					
藤崎中学校	校舎	平成16 (2004)	21					
藤崎中学校	校舎	平成16 (2004)	21	11,583	394,000	243,000		
藤崎中学校	校舎	平成16 (2004)	21					
藤崎中学校	屋内運動場	平成17 (2005)	20		62,000	55,000		
明德中学校	校舎	平成10 (1998)	27					
明德中学校	校舎	平成10 (1998)	27					
明德中学校	屋内運動場	平成16 (2004)	21					
明德中学校	渡り廊下	令和3 (2022)	3					
施設整備費 計				11,583	462,645	377,476	0	0
維持修繕費				9,069	9,069	9,069	9,069	9,069
光熱水費・委託費				45,983	45,983	45,983	45,983	45,983
合計				66,635	517,697	432,528	55,052	55,052

凡例	部位修繕
	大規模改造
	長寿命化(予防改修)
	その他

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携し、公有財産台帳に基づく施設情報や、定期的な施設の点検・評価を踏まえ、学校施設を継続的かつ効率的に更新する仕組みを検討します。特に、本計画のP D C Aサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積と一元的な管理を行い、継続的な学校施設マネジメントを実行します。

(2) 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくために、教育委員会を中心に庁内関係部署間で横断的に連携を図り、本計画を町全体の取り組みとして推進するため、推進体制の構築を図ります。

また、本計画を効率的に実施するためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用について、町全体の予算を踏まえ確保に努めます。

(3) フォローアップ

学校施設長寿命化計画について、計画期間の範囲内であっても、定期的に計画の達成状況等について正確に把握し、フォローアップ（5年ごと）を実施します。

また、突発的な社会的要請に伴い、機能を向上させるための費用が増えることも考慮する必要があります。児童数や生徒数の増減や分布に注視し、場合により、段階的な学校施設の保有量の縮減も視野にいれ、検討する必要があります。

